



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流
 コード番号 9055 URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 孝一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 荒川 信一 TEL 045-532-1982
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	58,873	8.2	3,229	6.6	3,465	12.7	1,794	△6.0
25年3月期第3四半期	54,416	3.6	3,028	5.4	3,073	6.2	1,909	41.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,314百万円 (48.9%) 25年3月期第3四半期 2,226百万円 (69.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	101.44	—
25年3月期第3四半期	107.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	60,738	39,074	57.6	1,975.68
25年3月期	58,188	36,631	56.5	1,858.55

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 34,960百万円 25年3月期 32,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
26年3月期	—	17.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	9.2	4,000	11.5	4,300	6.5	2,200	△6.6	124.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	17,737,200株	25年3月期	17,737,200株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	41,878株	25年3月期	41,878株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	17,695,322株	25年3月期3Q	17,695,405株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月～12月）の世界経済は、米国が好調に推移するとともに、夏場以降は欧州経済の停滞や中国など新興国の景気減速にも歯止めがかかり、地域別に濃淡はあるものの回復傾向となりました。日本においても、いわゆるアベノミクス効果によって、歴史的円高の是正や株価の回復が進み、实体经济面でも、輸出の増加による企業業績の改善や個人消費の増加などによって、回復が続きました。

このような経済環境において、当社グループは、「物流価値を活かし、グローバル成長を加速する」との基本方針のもとで、グローバル・ネットワークの拡充、独自サービスの深化、新規・深耕拡販や新市場への取り組みなど、引き続きグローバルにビジネスの拡大を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高58,873百万円（前年同期比 8.2%増）、営業利益3,229百万円（同 6.6%増）、経常利益3,465百万円（同 12.7%増）、四半期純利益は1,794百万円（同 6.0%減、前年同期は固定資産売却益525百万円を特別利益に計上）となりました。

<セグメントの概況>

①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界では、車載関連が、米国や新興国需要によって好調に推移しています。また、成長商品であるスマートフォンやタブレットPC向けについても、一時的な調整はありましたが夏場から需要が拡大しました。一方、物流面では、顧客の最適地生産や合理化の進展、機器の統合・小型化、そして各社のサービスの同質化など、厳しい競争環境が継続しました。

このような状況のもとで、当社グループは、グローバル・ネットワークの拡充や、国内・海外が一体となった拡販活動によって取扱貨物量の拡大を推進するとともに、運送・保管・輸出入各事業それぞれの体質強化を図ってまいりました。

成長が続く海外市場では、中国において上海アルプス物流が太倉支店（江蘇省）、深圳支店（広東省）を設立しました。太倉支店では3千㎡強の倉庫を立ち上げ、同地区での新規・深耕拡販を進めております。深圳支店につきましては、華南地区の既存拠点である香港、東莞、広州と連携して、事業拡大につなげてまいります。アセアンにおきましても、タイ、マレーシア、シンガポールの各拠点で新規ビジネスの受託に伴い、倉庫拡充を図っております。また、北米では、メキシコ・レイノサでの倉庫拡張に続き、米国・マッカレン（テキサス州）の倉庫を約25千㎡の規模に増床しました。好調な車載関連需要を捉え、取扱貨物量を拡大しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上につきましては、中国、アセアン、北米、東アジアなど海外を中心に拡大し、増収となりました。利益面では、期初は荷動き停滞による落ち込みがありましたが、夏場から荷動きが回復する中で、新規・深耕拡販による増収効果と事業体質強化の取り組みを進め、増益となりました。

当セグメントの売上高は27,943百万円（前年同期比 9.6%増）に、営業利益は2,260百万円（同 2.9%増）となりました。

②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品関連の包装資材、成形材料、電子デバイスの販売を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、調達と物流を一元化した電子デバイスの販売ビジネスが、顧客の車載関連の生産が拡大する中で、ニーズを捉えた営業活動を進め、売上を伸ばしました。また、包装資材の販売についても、梱包改善の提案営業によって売上を拡大しました。

当セグメントの売上高は12,763百万円（前年同期比 12.7%増）に、営業利益は471百万円（同 22.7%増）となりました。

③消費物流事業

消費物流事業を担う(株)流通サービスでは、これまで生協の個配関連を柱として事業拡大を進めてまいりました。ここ数年、小売の宅配や通信販売のマーケットが拡大する中で、多くの物流企業が宅配ビジネスに参入し、競争環境は厳しさを増しています。

このような事業環境において、(株)流通サービスでは、事業方針である「新しいビジネスモデル」の確立に向けて、宅配ニーズの高い首都圏で「RSQ（レスキュー）便」サービスを拡大するなど、体制整備を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上面では最需要期である12月に過去最高の月次売上を記録するなど、拡販活動によって増収となりました。利益面では、新規ビジネスの立ち上げ等による費用増を、増収効果と体質強化によってカバーし、増益となりました。

当セグメントの売上高は18,166百万円(前年同期比 3.2%増)に、営業利益は497百万円(同 11.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

前連結会計年度末と比較した当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

総資産につきましては、利益確保による「現金及び預金」の増加417百万円、売上拡大に伴う「受取手形及び営業未収金」の増加2,583百万円などにより、前連結会計年度末比2,550百万円増の60,738百万円となりました。

負債につきましては、「支払手形及び営業未払金」が売上拡大に伴う仕入債務の増加により1,315百万円増加しましたが、中間納税や冬季賞与の支払い、借入金の返済などによって、負債合計は、前連結会計年度末比106百万円増の21,663百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加1,175百万円、円安に伴う為替換算調整勘定の増加815百万円などにより、前連結会計年度末比2,443百万円増の39,074百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比1.1ポイント上昇し57.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成25年4月26日付「平成25年3月期決算短信」で開示した業績予想を以下の通り変更いたしました。詳細につきましては、本日（平成26年1月31日）開示の「平成26年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<通期連結業績予想>

	今回修正予想	(前回発表予想)
売上高	78,000百万円	(74,000百万円)
営業利益	4,000百万円	(3,700百万円)
経常利益	4,300百万円	(3,750百万円)
当期純利益	2,200百万円	(1,950百万円)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,399	12,817
受取手形及び営業未収金	10,996	13,579
商品	997	1,009
その他	2,002	1,746
貸倒引当金	△32	△33
流動資産合計	26,363	29,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,069	9,825
土地	14,525	14,553
その他（純額）	3,185	3,125
有形固定資産合計	27,780	27,504
無形固定資産		
のれん	56	39
その他	1,017	1,128
無形固定資産合計	1,074	1,167
投資その他の資産		
投資有価証券	371	500
その他	2,617	2,466
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	2,969	2,946
固定資産合計	31,824	31,619
資産合計	58,188	60,738
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,095	7,410
短期借入金	2,950	2,991
未払法人税等	939	328
賞与引当金	1,324	735
役員賞与引当金	—	28
その他	3,438	3,723
流動負債合計	14,749	15,218
固定負債		
長期借入金	2,736	2,518
退職給付引当金	1,573	1,612
役員退職慰労引当金	380	200
その他	2,117	2,113
固定負債合計	6,807	6,445
負債合計	21,556	21,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	2,029	2,029
利益剰余金	29,050	30,226
自己株式	△50	△50
株主資本合計	33,378	34,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	76
為替換算調整勘定	△486	329
その他の包括利益累計額合計	△491	406
少数株主持分	3,743	4,114
純資産合計	36,631	39,074
負債純資産合計	58,188	60,738

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	54,416	58,873
売上原価	47,673	51,528
売上総利益	6,742	7,345
販売費及び一般管理費	3,713	4,115
営業利益	3,028	3,229
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	7	7
為替差益	78	58
保険返戻金	14	208
その他	138	103
営業外収益合計	245	389
営業外費用		
支払利息	123	107
その他	76	45
営業外費用合計	200	153
経常利益	3,073	3,465
特別利益		
固定資産売却益	525	3
補助金収入	14	—
特別利益合計	540	3
特別損失		
固定資産除売却損	17	12
減損損失	—	17
固定資産圧縮損	7	—
特別損失合計	24	29
税金等調整前四半期純利益	3,590	3,439
法人税、住民税及び事業税	1,034	882
法人税等調整額	326	416
法人税等合計	1,361	1,298
少数株主損益調整前四半期純利益	2,229	2,140
少数株主利益	319	345
四半期純利益	1,909	1,794
少数株主利益	319	345
少数株主損益調整前四半期純利益	2,229	2,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	81
為替換算調整勘定	35	1,092
その他の包括利益合計	△3	1,174
四半期包括利益	2,226	3,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,893	2,692
少数株主に係る四半期包括利益	332	622

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,494	11,325	17,596	54,416	—	54,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,494	11,325	17,596	54,416	—	54,416
セグメント利益	2,196	384	447	3,028	—	3,028

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,943	12,763	18,166	58,873	—	58,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	27,943	12,763	18,166	58,873	—	58,873
セグメント利益	2,260	471	497	3,229	—	3,229

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。